



令和3年度 幼稚園評価の結果

1 主な指標の変化

- ① 今年度より幼稚園評価を1学期末と2学期末の2回実施をした。さらに、保育参観、運動発表会、生活発表会等、各種行事等が行われる度に簡単アンケートを実施してきた。その都度アンケートに対して100%に近い保護者から回答を得ることができたことに御礼を申し上げたい。保護者の皆様の幼稚園に対する関心の高さと厚いご協力にまずは感謝したい。
- ② 「子供は幼稚園が好きか」という問いに対し、「良くあてはまる」の回答が、83.3%である。1学期末(72.7%)に比べると10%アップの結果だった。本園のモットーでもある「笑顔と個性の花咲くみんなの楽園」をめざし、一人一人に温かく寄り添い、全員の笑顔が輝く幼稚園をさらに目指したい。
- ③ 質問12項目のうち11項目で1学期末の結果を上回り、充実した園生活であることがわかる。下がってしまった項目は、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣についてが、40.9%から33.3%に下がってしまった。幼児期の大切な基本的生活習慣の育成の観点から、引き続き、家庭と連携を密にとりながら取り組んでいきたい。

2 幼稚園教育目標の具現化に向けた指標

① 『健康で明るい子』

登園後、広い園庭に元気よく飛び出す子供が育っている。年間を通してトラックのラインが引かれた園庭を走る姿が目立った。また、月初めを「あいさつ運動」として、園をあげて取り組み始め2年目となった。登園した園児から、虹門に立ち、元気な声で友達を迎える姿が定着し、声を出すことが苦手な子も仲間と一緒に行動することで勇気を出して、あいさつをすることができた。

② 『きまりを守る子』

様々な集団生活を行う上で、「安全指導」については重視をしてきた。その結果、大きな怪我や事故なく、安全に過ごすことができた。また、安全点検、避難訓練等の安全指導は着実に毎月実施したが、保護者評価においては、「あてはまる」の数値が伸びた一方で「あまり当てはまらない」との意見もあった。

③ 『仲良く遊べる子』

ルールのある戸外遊びやごっこ遊びを充実させる環境構成に工夫を盛り込んだことで、友達と協力してグループ遊びをする姿が多く見られるようになった。また、集団遊びの工夫で異学年で楽しく活動する場面が増えている。

3 次年度へ向けての展望

「子どもは自分の思っていることを先生や友達に話せる」という項目が今年度も昨年度同様数値が低い。表現力育成のためのステップを考え、交流活動を増やすなど育成場面を工夫していきたい。また、来年度は一クラスでの活動となるので、小学校との交流や近隣保育園等との交流も視野に入れ活動の場を広げていきたい。

